

済生会だより

～まえばし～



理念
愛と希望

使命

済生（国民の生を救うこと）の心のもとに医療・福祉の充実と弱者救済事業を推進し、社会の発展に尽くします。

基本方針

- 一、私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、公平・安全な医療を提供します。
- 一、私たちは、地域の医療機関との連携を深め、中核病院として地元の皆様に必要なとされる医療を提供します。
- 一、私たちは、医療人としての誇りと責任を持ち、医療の質の向上・教育・研修に取り組みます。
- 一、私たちは、互いに協力・信頼し、感謝する心でチーム医療に取り組みます。

群馬県済生会前橋病院

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関し個人の情報を保護する権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できるまで医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただく事があります。
- 病院の規則を守って下さい。



前橋市立新田小学校 3年1組 東宮 功明 さん

毎年、病院祭「ふれあいデー」で地元小学校3校を対象にした絵画コンテストを開催、展示させていただいております。今年のテーマは「あったらいいな、こんな病院」です。病院賞に輝いた絵をご紹介します。



ごあいさつ

院長
西田 保二

明けましておめでとうございます。

平成27年は戦後70年の節目の年でした。歴史認識をめぐって近隣の国々と軋轢が起きています。正確な歴史認識を持つためには事実を伝えていくことが大切ですが、戦争の持つ悲惨な体験を語れる方々は高齢となり次世代に伝える時間は少なくなっています。戦争では多くの国民の生存を無視した形で国家は動きます。ヨーロッパに押し寄せる難民は今なお自らの生存をかけて移動しています。日本では憲法により生存権と財産権が保障されています。安部法案、税制改革、軽減税率導入など国民生活に関わる改革が進められていますが、一昨年末には財産権に関わる消費増税を理由に国会は解散しました。今回の安全保障関連法案は国民の生存権に深く関わる法案ですが、国民の意思を問わないという判断には疑問が残ります。

テロ事件、ギリシャ財政破綻など混乱が続く資本主義、自由経済の問題点が露呈した感があります。グローバル化の中で国、地域、世代間の二極化が進み宗教観や国力の違い、富裕と貧困など格差は拡大しています。日本はかつて一億総中流社会と言われていましたが最近では大きな格差が生まれ、特に若い世代の就職難が社会問題となっています。アメリカでも最近の年収調査で中流家庭が50%以下となり貧困が社会不安を増大させています。

よいこともありました。ノーベル物理学賞を梶田

隆章氏、医学生理学賞を大村智氏が受賞しました。大村氏が国内の土壌の細菌から発見し開発したイベルメクチンはストロメクトールという名で発売され、動物だけでなく人間の寄生虫の駆除にも有効で、ダニにより発症する疥癬の治療薬として広く使われています。

薬草治療や酵母菌、乳酸菌などの発酵技術は紀元前から人間の生活に役立ってきました。薬の開発は受容体という鍵穴にあった鍵を作る作業ですが、作用する部位の形に合わせた新薬の開発ではIT技術を用いて化学構造に適した設計が行われ科学的な解析が効率よく進められます。

大村氏の研究は、ペニシリン発見のような偶然性や気の遠くなりそうな地道な作業が必要な古典的な手法です。今世紀に入り、はじめに標的とする分子を定めそれに特異的に作用する物質を探しデザインしていく方法で作る分子標的治療薬が開発されました。開発された分子標的治療薬により治療法が全く変わった病気もあり、たとえばある種の白血病やC型慢性肝炎は内服治療により治療成績は劇的に改善しています。ただし、一日当たりの薬代が数万円と非常に高価であるため医療費増加が問題となっています。治療開始時の医療費は膨らみますが、一定期間の内服で病気が治り病状をコントロールできるためその後の治療費は少なく済みますし、何よりも治った患者さんには大きな福音です。

3年間で1兆5千億円の社会保障費削減目標が掲げられ、4月の診療報酬改定では薬価引下げやジェネリック薬品使用による医療費抑制が行われます。

新しく迎えたこの一年が皆様にとりまして実り多い年であることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。





手術・中央材料室の紹介

手術・中央材料室
師長 高橋 泰子

【概要】

手術室▶6室
手術科▶外科・腹腔鏡外科センター、整形外科、眼科
心臓血管外科、白血病治療センター
年間手術件数▶2437件（2014年度実績）
勤務体制▶変則二交代制（8：30～21：30）
土・日・祝日待機制（24時間対応）
看護師▶18名（師長1名・主任1名含）
看護補助者▶4名 医師事務作業補助者▶1名
併設する中央材料室では、手術室関連の主業務と院内
の洗浄・滅菌業務を行っています。

“手術を受ける”これは誰にとっても人生の一大事です。私たちはこの非日常的な場面に立ち会い、患者さんやご家族の思いを傾聴し、手術が安全・円滑に行えるように、また、手術や麻酔による侵襲を看護的に制御し、手術後の回復が速やかであるようにサポートしています。今回は手術室看護師の1日の業務をご紹介します。

8:30 朝礼 スタート

師長から本日の手術予定・役割担当・必要な申し送りを受ける



手術前準備

手術室・手術の物品準備・
麻酔器・監視モニター点検



術前訪問

手術室の様子を説明すると共に、
疑問にお答えし不安の軽減に努
めます 看護計画立案

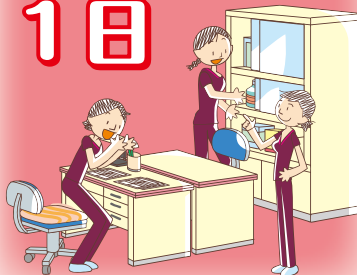


手術終了・患者さん退室

麻酔からの覚醒状態の観察
異常の早期発見・目標達成



看護師の 1日



器械展開

清潔操作で手術の器械を準備中



手術開始

体内遺残防止・感染
防止を徹底します

熟練した技術の器械
出し・外回り看護の
実践



13:30 患者さん入室

電子媒体で患者さんを確認、患
者誤認防止、手術部位誤認防止
を徹底します





感染対策のポイント

「手洗い」「咳エチケット」正しくできていますか？

感染管理認定看護師

櫻井 佐智子

今年もインフルエンザやノロウイルスの流行季節がやってきました。感染症に罹らない！人にうつさない！ための2つのポイントは「手洗い」と「咳エチケット」です。2つとも誰にでも出来て、とても簡単なことです。しかし簡単なことだからこそ、正しく出来ていないひとが多いのです。今年の冬は「正しい手洗い」と「正しい咳エチケット」で正しく感染を予防しましょう。

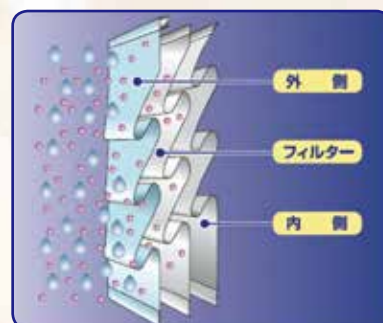
【正しい手洗い】

冬に流行するウイルスにはエタノールが効かないものもあり、その場合速乾性手指消毒剤は効果がありません。石けん自体にはウイルスを死活化する効果はありませんが、手の皮脂等の汚れを落とすことにより、ウイルスを手指から剥がし落とします。手指に付着しているウイルスを減らす最も有効な方法です。食事の前、トイレに行った後、下痢や吐物処理の後、オムツ交換をした後、不特定多数の人が触れるドアノブなどに触った後は、必ず手を洗いましょう。

【咳エチケット】

2003年にSARSが大流行したあと、「咳エチケット」が世界共通の標準感染予防策になりました。日本の厚生労働省も、咳エチケットの普及啓発活動を行っています。

咳、くしゃみが出るときはマスクを着用しましょう。マスクはノーズピースを顔の形に合わせ、鼻と口を覆いましょう。マスクのヒダが下向きになるように着用します。マスクがない場合は、ティッシュやハンカチで鼻と口を押さえ、他の人から顔をそむけましょう。鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。咳をしている人にはマスクの着用をお願いしましょう。



乾燥する季節、それはウイルスたちが猛威を振るう季節です。
ウイルスに負けないで楽しい冬をお過ごしください。



労働と看護の質向上のためのデータベース事業 DiNQL

循環器内科・心臓血管外科病棟
師長 細 洸 節 子

DiNQLは「よい看護がしたい！」看護職の誰もが願うその思いを実現するために日本看護協会が始めた事業です。

インターネット経由で全国の病院から労働と看護の質評価指標データ（人員配置や労働時間、看護実践の内容、患者アウトカムなど）を収集し、同規模・同機能を備える病院や病棟と比較したベンチマーク評価を行います。その“可視化”によって、自分たちの強みと弱みを把握し、強みを伸ばし、弱みを補う方法を、他施設の取り組み事例や知恵の共有から学びます。

2012年から試行された事業ですが、2015年度は521病院が参加し本稼働となりました。当院も今年度から参加し、データ収集を開始していま

す。今まで自分たちの看護を客観的に見る指標がなく、他施設と比較する手段もありませんでしたが、このDiNQLによってそれが可能となり、質の高い看護の提供とよりよい労働環境作りに役立つと考え、患者さんも看護師も満足度があがることを期待しています。



INFORMATION



検診センターの超音波装置を更新しました

検査科
主任 深 津 圭 子

超音波とは人間の耳には聞こえない高い周波数の音のことを言い、液体中は伝わりやすく、空気中では伝わりにくい性質があります。病院などで行っている超音波検査（エコー検査）は例えるなら、「山や谷で大声を出すと、やまびこが返ってくる」そんな音の性質を利用しています。体外から体内へ向け超音波を出し（山に向かって大声を出す）、臓器で反射した音波（やまびこが返ってくる）を使い、各臓器の画像を作り、観察を行います。この様にして得られた画像から臓器の形の異常や内部の病変を確認し、病態の把握や経過観察に役立てられています。また、痛みや害もなく、繰り返し行える負担の少ない検査です。

当院では、検診センターに超音波検査室を2室設け、2名の臨床検査技師で対応しています。平成27年11月に超音波検査装置1台を最新のaplio400（東芝製）に更新した事で、より解像度の高い画像で更に詳細な観察が可能となりました。人間ドックの超音波検査では腹部臓器（肝

臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓・腹部大動脈）を観察し、疾病の早期発見、診断に役立てています。また、一泊二日コースではオプション検査として甲状腺エコー検査も実施しております。





リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんまに 参加して

がん治療管理委員会（医事課）
大 木 浩 次

リレー・フォー・ライフ（Relay For Life）とは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧をめざすチャリティ活動です。群馬では毎年10月に開催されており、今年で3回目となります。“Save Lives”を使命とし、直訳すると「命を救う」ですが、単に医療行為で救命するという意味ではありません。医療に従事しなくてもイベントに参加し寄付金を募ることで医療の進歩に貢献し、間接的に人の命を救うことができます。そしてがんに負けない社会を作ることを目指しています。募った寄付金は日本対がん協会を通じ、患者支援を中心とした対がん活動に使われます。

当院は回を重ねる毎に職員ボランティアの参加者も増え、今年は80名以上となりました。24時間交替してリレーを繋げる中で、私は毎年夜間を担当させてもらっています。秋の星空の下、ルミナリエが優しく照らしたグランドを歩き、夜風で冷えた体を希望の朝日が会場を包み込むと同時にその温かさをみんなで分かち合います。不安で眠れぬ夜を過ごす患者さんに寄り添っているこの時間は、夜を歩いた人だけが味わうことの出来る感動的なものです。

今回も当院は24時間リレーをつなぐことができ、3年連続で完歩賞をいただきました。次回も4年連続の受賞を目指し、さらに多くの方々と感動を共有できればと思います。



10月17～18日 ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドにて



あずま荘 クリスマス会を開催しました

介護主任
太刀川 淳 一

12月16日(水)あずま荘クリスマス会を開催しました。大利根幼稚園の32名の園児の皆さんに可愛らしいお遊戯を披露していただき、利用者の皆さんは楽しいひと時を過ごされました。

イベントに季節感を取り入れることは、利用者の皆さんにとって季節を認識することにも繋がります。また季節行事は生活してきた場所や時代にかかわらず、利用者・職員が共通の話題にすることができます。これからもイベントを通じて、昔を振り返るきっかけとなり精神的な安定を図ったり、人と触れ合う楽しみなどを提供できるよう、スタッフ一同協力して企画していきたいと思います。



『東公民館文化祭』に参加しました

11月7日～8日『東公民館文化祭』に参加しました。参加にあたっては、毎年、東公民館、自治会連合会、保健推進委員、東公民館自主サークルグループの皆様に、多大なご協力をいただいております。

東公民館自主サークルグループでは、地域の皆様が、歌、演奏、ダンス、絵画、写真、料理といった様々な分野で楽しく活動をされています。文化祭はその発表の場で、多くの方が来場されます。

当院及び併設の老人保健施設あずま荘は、合同で社会福祉事業『なでしこプラン』の一環として、保健推進委員の皆様と一緒に地域の健康増進活動や健康測定を行います。まずは保健推進委員ブースで、体重、体脂肪、握力などの測定や健康

増進に関するクイズを実施、その後当院のブースで、血圧、血管年齢などの測定を行います。

今年5月に新築移転した東公民館での文化祭は、今まで以上に大盛況でした。今後も地域の健康増進に貢献してまいります。



『ふれあいデー2015』の収益を寄付させていただきました

今年度行われましたふれあいデーでは新たに農産物販売コーナーを設け、来場者の方々にご購入をいただきました。

売上金の87,850円は、例年通り東地区社会福祉協議会に全額寄付させていただきました。東地区の社会福祉にご活用いただければ幸いです。



登録医紹介シリーズ

青山医院



院長 青山 正洋
医師 青山 美子
住所 前橋市古市町350
電話 027-251-2861
診療科 内科・神経内科・小児科・アレルギー科



花粉症、生活習慣病、脳血管障害、認知症の診察や、頭痛外来、禁煙外来などを行っています。電話にて診察予約を受け付けております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:30	○	○	9:00 11:30	○	○	○	休
午後 16:00~17:30	○	○	休	○	○	休	休

倉繁皮ふ科医院



院長 倉繁 田鶴子
住所 前橋市古市町415
電話 027-253-5600
診療科 皮ふ科



当医院では急を要する患者さん（熱傷など）をのぞいて、完全予約制をとらせていただいております。2週間後の同じ曜日（受付日が祝休日の場合は前日）の予約を朝9時より電話にて受付しております。来院時は、保険証をお忘れなく。現在服用中のお薬があれば持参していただければ幸いです。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:30~13:00	○	○	○	休	○	○	休
午後 14:30~18:30	○	○	○	休	○	休	休

新前橋耳鼻咽喉科医院



院長 豊田 修
副院長 豊田 篤
住所 前橋市古市町1-48-6
電話 027-253-6170
診療科 耳鼻咽喉科・気管食道科・アレルギー科



花粉症などのアレルギー性鼻炎や蓄膿症等の鼻の病気、難聴、中耳炎、めまいなどの耳の病気、喉の痛みや声がれ等の病気を診察します。禁煙外来も行っております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	9:00 13:00	休
午後 14:30~18:00	○	○	○	休	○	休	休

外来医師診療表

◆休診日：第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

◆内科総合外来の担当医師は変更することがあります。

【午前】受付：午前8時30分～午前11時（診察開始：午前9時）・内科総合外来以外は予約制 【午後】完全予約制

平成27年7月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土(第1・3)
内科総合 外来(初診)	9:00 10:30 10:30 12:00	福 田	荻 原	池 田	長 坂	星	交替制
	午前	星 野			高 田	初 見	
血液内科	午後		佐 倉・高 田 初 見・星 野 小 林	佐 倉			
腎臓内科	午前	月 田	中 沢	三 島			
	午後	木 村			[CAPD外来]木村(第4)	三 島・木 下	
内分泌・ 糖尿病内科	午前					荻 原	荻 原
	午後	荻 原		青 木	荻 原		
呼吸器内科	午前				久田(第3休診)		岡 山
	午後			牧 元・岩 崎		岡 山(第2)	
消化器内科	午前		樋 口・田 原	樋口・吉永・吉田	蜂 巣	田 中・竹 内	
	午後			橋爪(第1・3・5)	高 木(第2・4) 田 原・竹 内		
循環器内科	午前	池 田 舘 野	中 野・福 田 戸 島	中 野・福 田 戸 島	中 野・土 屋 佐 鳥	池 田・土 屋 [循環器外来]福田(第5休診)	福 田 池 田
	午後	【禁煙外来】 池 田		【ペースメーカー外来】池田 【心不全・動脈硬化外来】舘野	【弁膜症・先天性 心疾患外来】舘野		
外 科	午前	藍 原・須 賀 内 田	細 内・和 田 【乳腺外来】鈴木	西 田・須 賀 【ヘルニア外来】藍原	細 内・萩 原 【食道外来】鈴木	細 内・和 田 萩 原	交替制
整形外科	午前	後 藤 長谷川	中 島 野 崎	中 島 永 井	長谷川 野 崎	後 藤 永 井	第1：中島・長谷川 第3：後藤・永井
リハビリテーション科	午前				【関節】白 倉		
心臓血管外科	午後	石 山		石 山			
小児科	午前					【循環器】鈴木(尊)(第1・3・5)	
	午後					【循環器】鈴木(尊)	
眼 科	午前	福 地・中 村	中 村	中 村	中 村	相 澤	群 大
泌尿器科	午前	鈴 木 (和)					

交通のご案内



- * 前新橋駅よりタクシーで10分
- * 前橋駅よりバスで20分/高崎駅よりバスで40分
- * 前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。

上信バス時刻表案内
(済生会前橋病院発着予定時刻表)
平成26年10月1日現在

行先	前橋駅行	中央前橋駅行	高崎駅行
7	45	07	01 44
8		35	18 52
9	48	19	57
10	50	22	36
11		42	02 40
12			16
13	03	48	06
14			03
15	12	44	12
16	32		10
17	05		08 40
18		01	34 18
19	09 59		25 45
20			06

●印：土日祝日は運休 ●印：土日祝日のみ運行

お問い合わせ

代表番号 ☎027-252-6011

患者さんへ ●前橋市成人健康診査のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011内線1101

●人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-1959(直通)

医療機関様 ●診察・検査(CT・MRI・内視鏡(上部・下部))・入院・
セカンドオピニオン・緩和ケアのご紹介
地域連携課 ☎027-252-1751(直通)

介護関連 ●入所・通所に関するご相談
介護老人保健施設あずま荘 ☎027-254-0108

●前橋市高齢者福祉サービスのご相談
地域包括支援プラランチあずま荘

●介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘 ☎027-255-1511